

平成28年度 大田区地域包括支援センター評価結果一覧

地域包括支援センター名	大森	平和島	入新井	馬込	徳持	新井宿	嶺町	田園調布	たまがわ	久が原	上池台
I 地域包括支援センターの体制・組織運営											
I-1 地域包括支援センターの設置目的・基本的機能、年度計画	地域包括支援センターの設置目的・基本的機能を理解し、年度計画の策定・進捗管理も良好である。	地域包括支援センターの設置目的・基本的機能について、定期的な取組を実施している。年度計画の策定・進捗管理についても職員全員で関わり、センター全体での意識付けするための特長のある取組を実施している。	地域包括支援センターの設置目的・基本的機能について、定期的な取組があるとおおしい。年度計画の策定・進捗管理については、大変良好な取組を実施している。	地域包括支援センターの設置目的・基本的機能について、定期的な取組があるとおおしい。年度計画の策定・進捗管理については、良好である。	地域包括支援センターの設置目的・基本的機能について改めて職員間で理解を深める取組を進めること。年度計画の進捗管理については、職員全員で行うとおおしい。	地域包括支援センターの設置目的・基本的機能について改めて職員間で理解を深める取組を進めること。年度計画の進捗管理については、職員全員で行うとおおしい。	地域包括支援センターの設置目的・基本的機能を理解し、年度計画の策定・進捗管理も良好である。	地域包括支援センターの設置目的・基本的機能を理解し、年度計画の策定・進捗管理も良好である。	地域包括支援センターの設置目的・基本的機能を理解し、年度計画の策定・進捗管理も良好である。	地域包括支援センターの設置目的・基本的機能を理解し、年度計画の策定・進捗管理も良好である。	地域包括支援センターの設置目的・基本的機能を理解し、年度計画の策定・進捗管理も良好である。
I-2 組織の運営・人事	人員体制が適切である 3職種が協働して「チーム」として活動している 職員の教育・研修が行われている 個人情報適切に取り扱っている 公正・中立な運営の確保に努めている	チーム協働、教育・研修、公正・中立な運営の確保について、良好な取組を実施している。人員体制については、安心して産休・育休の取得ができる体制が望ましい。夜間・休日など時間外の対応方法については、利用者の負担とならない工夫があればなお良い。	人員体制、チーム協働、教育・研修、公正・中立な運営の確保については、良好な取組を実施している。夜間・休日など時間外の対応方法については、利用者の負担とならない工夫があればなお良い。	人員体制について、以前長期の欠員があった。チーム協働、公正・中立な運営の確保については、良好な取組を実施している。研修で得た知識・情報を地域包括支援センターで共有するために、研修報告書の運用や伝達研修があればなお良い。	人員体制について、良好である。夜間・休日など時間外の対応方法については、利用者の負担とならない工夫があればなお良い。また、教育・研修で得た知識・情報を地域包括支援センターで共有するために、研修報告書の運用や伝達研修があればなお良い。個人情報の取扱いについては、漏えい対策を改善すること。	人員体制について、現在も欠員がある。夜間・休日など時間外の対応方法については、利用者の負担とならない工夫があればなお良い。教育・研修については、良好な取組を実施している。個人情報の取扱いについては、漏えい対策を改善すること。	チーム協働について、良好な取組を実施している。教育・研修については、特長のある取組を実施している。	人員体制、チーム協働、教育・研修、公正・中立な運営の確保について、良好な取組を実施している。時間外の相談対応については、特長のある取組を実施している。	チーム協働、教育・研修、公正・中立な運営の確保について、良好な取組を実施している。個人情報の取扱いについては、特長のある取組を実施している。	チーム協働、教育・研修、公正・中立な運営の確保について、良好な取組を実施している。時間外の相談対応については、特長のある取組を実施している。	人員体制、チーム協働、教育・研修、公正・中立な運営の確保について、良好な取組を実施している。時間外の相談対応については、特長のある取組を実施している。
II 地域包括支援センターの業務											
II-1 総合相談支援業務	独自のアンケートにより地域の実態を把握している。利用者・民生委員から高い評価を得ている。引き続き丁寧な対応を期待する。 地域におけるネットワークを構築している	地域包括支援センター内でしっかりコミュニケーションがとれており、職種の役割も各自きちんと果たしている。また、緊急時には、担当者以外でも対応できるように支援が必要な方の情報共有がされている。	みま〜も活動を通し、地域特性を良く把握している。問題点は確認し、次に生かすことが出来ている。利用者・民生委員アンケートからも丁寧な対応が伺える。	ベテランを中心に、丁寧な対応をしている。更なるレベルアップのために、経験で得た情報のデータ化、分析力の向上、若手の育成、ベテラン期のスキルアップ研修などを目指して欲しい。	職員のアセスメント能力の向上を目指して欲しい。職員間の連携や情報交換を密にし、より主体的な取組をされるよう希望する。	ワンストップ対応に努めている。新しい取り組みにも積極的な姿勢が見受けられる。事例のフォローや支援終了の判断について計画的かつ均一な対応ができる体制作りを希望する。	H28年度より管轄が嶺町地区のみとなり、地区対応がしやすくなった。ケース対応では積極的に訪問を行い、困難ケースにはチームで当たる等、適切に対応している。地域の会議には所長が数多く出席しているの、今後は他の職員も含め、包括嶺町として関係を強化して欲しい。	地域の行事に積極的に参加し、地域住民のニーズや地域特性を把握すると共に、関係機関や地域住民との連携強化に努めている。利用者の状況に応じ、若年の方や、区外の方の相談にも柔軟に対応している。	社会資源等について、直接出向き、話を聞くなどして得た詳細な情報をデータベースとしてまとめている。地域との関係づくりを積極的に行っており、幅広い相談に対応できるよう、チームワークよく、ワンストップ対応に努めている。	地域のイベントなどに積極的に出向き、住民や民生委員、自治会への独自アンケート調査など、地域住民の実態の把握に努め良好なネットワーク構築に努めている。地域住民からの相談に丁寧に対応している。積極的に訪問し、対象者の実態把握に努めている。	毎年、生きいきレポート(個別訪問)の実施、情報誌の発行を通して地域住民とのかかわりが持て、地域診断を行っている。月一回、所内で援助技術研修を行うなど、相談対応のスキル向上に全体で取り組んでいる。ネットワーク構築についても、バランスよく取り組んでいる。
II-2 介護予防ケアマネジメント業務	広く担当圏域の住民に周知が行われている。今後は一層、利用者の自立に向けた介護予防ケアマネジメントが望ましい。 自立後の支援が適切に行われている	広く担当圏域の住民に周知が行われている。今後は一層、利用者の自立に向けた介護予防ケアマネジメントが望ましい。	広く担当圏域の住民に周知が行われている。今後は一層、利用者の自立に向けた介護予防ケアマネジメントが望ましい。	担当圏域の住民への周知は限定されている。今後は、利用者の自立に向けた介護予防ケアマネジメントが望ましい。	担当圏域の住民への周知は限定されている。今後は、利用者の自立に向けた介護予防ケアマネジメントが望ましい。	広く担当圏域の住民に周知が行われている。今後は一層、利用者の自立に向けた介護予防ケアマネジメントが望ましい。	広く担当圏域の住民に周知が行われている。利用者の自立に向けた適切な介護予防ケアマネジメントがなされている。	広く担当圏域の住民に周知が行われている。今後は一層、利用者の自立に向けた介護予防ケアマネジメントが望ましい。	広く担当圏域の住民に周知が行われている。今後は一層、利用者の自立に向けた介護予防ケアマネジメントが望ましい。	広く担当圏域の住民に周知が行われている。今後は一層、利用者の自立に向けた介護予防ケアマネジメントが望ましい。	広く担当圏域の住民に周知が行われている。今後は一層、利用者の自立に向けた介護予防ケアマネジメントが望ましい。
II-3 権利擁護業務	虐待対応については、前年度からの改善が見られ、計画的に実施するためのリスト作りなど良い取り組みができています。 消費者被害の防止に対応している	虐待対応については、研修への積極的な参加など職員の意識が高い。情報の整理、対応も良好である。	虐待対応については、情報収集とともにモニタリングもきちんとできています。行政への疑問点や心配点について確認、相談も適切にできています。	虐待対応については、情報収集が適切に行われており、区への報告も速やかである。寄り添い支援する姿勢での対応に優れている。	虐待対応については、より速やかな対応ができるよう改善を期待する。	虐待対応については、計画的な対応・介入、定期的なモニタリングができています。	センター内協議により支援計画を作成する等、概ね適切な対応ができています。虐待判断やモニタリングには、不十分な点もあるためスキルアップを期待する。今年度は消費者被害の報告もあったが、連絡会で情報共有し、関係機関に繋ぐ等、適切に対応している。	虐待通報があった際は、速やかに報告があり、適切に対応している。介護事業所や民生委員などとも連携し支援している。法人で法律講座を開催するなど、成年後見制度の普及に努めている。	虐待の早期発見につながるよう、各協議会で情報連絡がされているほか、みんなの介護保険等の関係冊子の更新に合わせて事業所を訪問し、関係を密にしている。また、少しでも虐待が疑わしいケースは行政に連絡するなど、早期対応に努めている。	虐待対応に関しては、二職種訪問を行い、職員全員で情報共有し検討の上対応を行っている。地域の特性を捉え、消費者被害の防止について、警察との連携も積極的に、普及啓発に努めている。	地域のケアマネジャーとの密なネットワークを背景に、虐待の早期発見に努めている。虐待通報を受けた際は速やかに行政に連絡をし、一つ一つの事例への対応を確実に、定期的に行い、モニタリングを実施している。
II-4 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	居宅介護事業所に向くことでケアマネジャーの状況も把握できている。 地域における介護支援専門員のネットワークを活用している	小規模のケアマネジャー事業所に声をかけ、交流会や事例検討会を行うなど、ケアマネジャー同士のつながりに配慮した企画を行っている。	ケアマネジャーとよく連携がとれている。関係者会議の目的・内容が適切で、進捗管理もきちんとしてくる。	日頃の職員個々の誠意ある対応により、地域や関係機関から信頼されている。	ケアマネジャーが気軽に相談できる体制づくりに向けて課題がある。職員全員での取組を希望する。	ケアマネジャーの状況を把握し適切な支援ができるよう、工夫を期待する。	地域包括ケアの会や各種連絡会の開催、居宅支援事業所への訪問等、関係機関との連携構築に努めている。また、個別ケア会議も開催し、地域の課題抽出にも取り組んでいる。	地域包括ケアの会を開催し、地域関係機関とケアマネの連携推進に努めている。今後は個別ケア会議を開催を希望する。介護支援専門員からの相談には適切に対応し、支援している。	職員が積極的に地域や関係機関に出向き、連携体制構築に取り組んでいる。定期的にケアマネジャー事業所を訪問し、良好な関係が作られている。	地域包括ケアの会を開催するなど、積極的に連携体制構築に取り組んでいる。担当圏域のケアマネジャーへの支援件数も多く、状況把握ができています。	地域のケアマネの質向上のため、医療機関とケアマネの連絡会や研修、事例検討などに熱心に取り組んでいる。地域のケアマネと良く連携が取れている。ケア会議の参加者を広げる取り組みを期待する。

平成28年度 大田区地域包括支援センター評価結果一覧

地域包括支援センター名	田園調布医師会	六郷東	六郷中	やぐち	西蒲田	蒲田	蒲田医師会	大森東	糀谷	羽田
I 地域包括支援センターの体制・組織運営										
I-1 地域包括支援センターの設置目的・基本的機能、年度計画	地域包括支援センターの設置目的・基本的機能を理解し、年度計画の策定・進捗管理も良好である。	地域包括支援センターの設置目的・基本的機能を理解し、年度計画の策定・進捗管理も良好である。	地域包括支援センターの設置目的・基本的機能、年度計画の進捗管理について、定期的に振り返りを行うなど、職員の理解の徹底に向けた取組があるとよい。	地域包括支援センターの設置目的・基本的機能について、定期的に振り返りを行うなど、職員の理解の徹底に向けた取組があるとよい。年度計画の策定・進捗管理については、良好である。	地域包括支援センターの設置目的・基本的機能を深く理解し、年度計画の策定や進捗管理についても大変良好な取組を実施している。	地域包括支援センターの設置目的・基本的機能について、定期的に振り返りを行うなど、職員の理解の徹底に向けた取組があるとよい。年度計画の策定・進捗管理については、良好である。	地域包括支援センターの設置目的・基本的機能について定期的に振り返りを行うなど、職員の理解の徹底に向けた取組があるとよい。年度計画の策定・進捗管理については、良好である。	地域包括支援センターの設置目的・基本的機能の策定や進捗管理について大変良好な取組を実施している。また、出張相談は特長ある取組である。	地域包括支援センターの設置目的・基本的機能について、定期的に振り返りを行うなど、職員の理解の徹底に向けた取組があるとよい。年度計画の策定・進捗管理については、良好である。	地域包括支援センターの設置目的・基本的機能について、定期的に振り返りを行うなど、職員の理解の徹底に向けた取組があるとよい。年度計画の策定・進捗管理については、良好である。
I-2 組織の運営・人事	人員体制について、現在長期欠員がある。チーム協働、教育・研修、公正・中立な運営の確保については、良好な取組を実施している。	人員体制、チーム協働、教育・研修、個人情報の取扱い、公正・中立な運営の確保について、良好な取組を実施している。	チーム協働、個人情報の取扱い、公正・中立な運営の確保について、良好な取組を実施している。研修で得た知識・情報を地域包括支援センターで共有するために、研修報告書の工夫や伝達研修があるとよい。	人員体制、チーム協働、教育・研修、個人情報の取扱い、公正・中立な運営の確保について、良好な取組を実施している。書類の提出については、期限等に留意すること。	人員体制について、以前長期間の欠員があった。チーム協働、教育・研修については、特長のある取組を実施している。個人情報の取扱い、公正・中立な運営の確保については、良好な取組を実施している。	チーム協働、教育・研修、公正・中立な運営の確保について、良好な取組を実施している。書類の提出については、期限等に留意すること。	チーム協働、公正・中立な運営の確保について、良好な取組を実施している。研修で得た知識・情報をセンターで共有するために、研修報告書の運用や伝達研修があるとよい。夜間・休日など時間外の対応方法については、利用者の負担とならない工夫があるとよい。	チーム協働、教育・研修、公正・中立な運営の確保について、良好な取組を実施している。時間外の対応方法、及び個人情報の取扱いについては、特長のある取組を実施している。	チーム協働、教育・研修、公正・中立な運営の確保について、良好な取組を実施している。時間外の対応方法、及び個人情報の取扱いについては、特長のある取組を実施している。	チーム協働、個人情報の取扱い、教育・研修、公正・中立な運営の確保について、良好な取組を実施している。書類の提出については、期限等に留意すること。
II 地域包括支援センターの業務										
II-1 総合相談支援業務	地域支援活動を通じた情報把握は十分行っており、民生委員、地域住民、医療機関、諸機関との連携もできている。地域住民からの相談には丁寧に対応し、敏速な訪問、面接を行っている。医師会と言う特性を生かし、医療機関との一層の連携を期待する。	サロン等に定期的に訪問し、民生委員、医療機関等の懇談会にも積極的に参加する等ネットワークの構築に良好な取組を実施している。住民対応において、地域の訪問に力を入れ必要なフォローができています。	お役立ちガイドの情報更新・配布を行い、社会資源の把握や情報提供を行うとともに、地域関係者との連携に有効な取組を実施している。見守りキーホルダー登録更新については、熱心にPRを展開している。	訪問調査を実施し、地域住民のニーズ把握に積極的に取り組んでいる。地域の社会資源を集約し、お役立ちガイドの作成を進める等、良好な取組を行っている。区民対応においては、訪問により実態把握し、適切に対応している。	地域に積極的に出向き、地域の社会資源を集約し、お役立ちガイドの作成を進める等良好な取組を行っている。ケースの状況に応じて定期的にフォローし、ケアマネジャー等と連絡を密にし、支援のネットワーク構築に努めている。	地域住民、社会福祉協議会、警察、消防、行政が参加する意見交換会を主催し、住民の声を聞き、地域特性の把握や住民と関係機関の連携強化に取り組んでいる。二名被保険者の相談にも積極的に対応している。	社会資源等の資料を、相談者にすぐに案内できるように適切に整理している。東京都健康長寿医療センターや区等と連携し、高齢者向けの情報サイト構築に良好な取組を実施している。	地域住民の実態を把握し社会資源を活用しながら、住民のニーズに対応できている。特定エリアを決めて、包括支援センター未把握の家庭へ積極的に訪問している。早期に相談できる体制づくりに努めていることは特長ある取組である。	糀谷福祉施設連絡会を特別出張所と開催し、地域の情報発信や各施設連携の要として役割を果たしている。今後、地域包括支援センター内で情報を共有したり、3職種で対応方針や緊急性のある見極めをして、センターとして丁寧な対応を希望する。	地域住民の実態を把握し地域の社会資源を活用しながら、住民のニーズを捉えて対応している。独自で地域の資源を整理し活用している。
II-2 介護予防ケアマネジメント業務	広く担当圏域の住民に周知が行われている。今後は一層、利用者の自立に向けた介護予防ケアマネジメントが望ましい。	担当圏域の住民に周知は限定されている。今後は一層、利用者の自立に向けた介護予防ケアマネジメントが望ましい。	広く担当圏域の住民に周知が行われている。今後は一層、利用者の自立に向けた介護予防ケアマネジメントが望ましい。	担当圏域の住民に周知は限定されている。今後は一層、利用者の自立に向けた介護予防ケアマネジメントが望ましい。	広く担当圏域の住民に周知が行われている。今後は一層、利用者の自立に向けた介護予防ケアマネジメントが望ましい。	広く担当圏域の住民に周知が行われている。今後は一層、利用者の自立に向けた介護予防ケアマネジメントが望ましい。	広く担当圏域の住民に周知が行われている。今後は一層、利用者の自立に向けた介護予防ケアマネジメントが望ましい。	広く担当圏域の住民に周知が行われている。今後は一層、利用者の自立に向けた介護予防ケアマネジメントが望ましい。	広く担当圏域の住民に周知が行われている。今後は一層、利用者の自立に向けた介護予防ケアマネジメントが望ましい。	広く担当圏域の住民に周知は限定されている。今後は一層、利用者の自立に向けた介護予防ケアマネジメントが望ましい。
II-3 権利擁護業務	高齢者虐待の通報時、速やかな報告ができており、また区との相談も適切に行われている。近隣情報収集や、関係機関との連携、支援も行っている。メーリングリストの活用は独自の取り組みで、タイムリーに情報発信ができ、また情報共有ができて消費者被害防止等に役立っている。	虐待対応において、リスクを考慮し、業務マニュアルに沿った連携支援ができています。成年後見制度の利用については、東京社会福祉士会、司法書士会等の専門機関に繋ぐ等、積極的に取り組んでいます。	虐待対応のアセスメントや緊急性の判断は、3職種で情報共有し、業務マニュアルに沿って支援計画を立てること等により、全職員のケースの対応をレベルアップできるような仕組みづくりの検討があるとよい。	虐待対応において、3職種で検討を行い、区への適時な報告ができています。消費者被害のケースについては、関係機関と連携しながら訪問し、被害防止に必要な支援を行った。	虐待対応において、地域住民や関係機関とのネットワークを生かして情報収集し、夕礼、所内会議の情報共有、区への報告も適切に行っている。モニタリングも継続的にできています。	虐待対応において、記録は職員全員で供覧し、毎日のカンファレンスで情報共有し、速やかな報告ができています。成年後見制度の活用が必要なケースには、社会福祉協議会へ積極的に相談をつなげている。	虐待対応において、地域住民や関係機関とのネットワークを活かして情報収集を積極的に行い、定期的にモニタリングを行っている。成年後見制度の普及促進の為にセミナー等の取組があるとよい。	虐待対応に関して、3職種で話し合い、早期に的確に対応できている。困難、個別性の高い事例に対して、丁寧に粘り強く対応している。またモニタリングもできている。	虐待対応や成年後見制度利用に関して、今後、常に3職種で情報共有し検討の上、業務マニュアルに沿った早期の対応を希望する。また、虐待に関し、丁寧なモニタリングを行うこと。今後高齢者の増加に伴い、認知症高齢者も増加が見込まれ、早期に後見制度等の利用を勧め、高齢者の権利を守るような取組を充実すること。	虐待対応や成年後見制度利用に関して、今後、常に3職種で情報共有し検討の上、業務マニュアルに沿った対応を希望する。今後高齢者の増加に伴い、認知症高齢者も増加が見込まれ、早期に後見制度等の利用を勧め、高齢者の権利を守るような取組を充実すること。
II-4 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	年2回の包括ケアの会開催、介護支援専門員連絡会支援など取り組んでいる。地域の事業所や近隣とのネットワークが構築できている。区界の包括として、他区への情報提供、共有の対応を行っている。	地域包括支援センター主催の介護支援専門員懇談会を実施し、困難事例だけに留まらず、介護支援専門員が気軽に相談できる関係づくりに努めている。	困難ケースの担当者会議を主催するなど、ケアマネジャーへの個別支援を行っている。蒲田管内6包括と蒲田地域福祉課共催のケアマネジャー研修会を実施している。	地域のケアマネジャー懇談会を2か月に1度開催し、相談・連携しやすい環境づくりに努めている。事例検討会を重ね、個別地域ケア会議につながる等良好な取組を実施している。	地域のケアマネジャーに対する研修や懇談会「ケアマネ村」を年4回開催し、ケアマネジャーの人材育成、ネットワークの強化につながる良好な取組を実施している。	地域の関係機関との意見交換の場をつくり、連携体制の構築につながる良好な取り組みを実施している。ケアマネジャーにも地域づくりを意識啓発する良い機会となっている。	運営法人において、うめちゃん談話室の開催(ケアマネジャー、事業者との連携)等、地域の関係機関とのネットワークの構築に積極的に取り組んでいる。	事例検討や民生委員、医師会地域連携室との懇談会の開催等、包括的ケアマネジメントを可能にする体制構築ができています。	地域福祉施設連絡会開催、地域内認知症勉強会、地域の各関係機関との連携等ネットワークの構築は評価でき、特長ある取組である。	地域の各関係機関との連携や、介護予防教室、自主グループへの働きかけから包括的・継続的ケアマネジメントを可能にする体制は構築されている。